

「もうすぐ、ごはんになりますから」と、おじぎをしました。おきさきさまは、それをみて、「おまえたちは、さくや、ひめから、おもしろいゆめのはなしをきいたそうだね」といわれました。おうさまから、こうたずねられますと、じょちゅうは、びっくりしたようなかおをして、かおをみあわせました。そうしてふたりいっしょに、こうこたえました。

「いいえ、おじょうさまは、ゆめのおはなしなど、ひとつもわたしたちになさいません」

「えっ、おまえたちは、ひめからゆめのはなしをひとつもきいてないのか」と、おうさまは、こわいかおをして、おにらみになりました。「はい。きいておりません」「うそをいうでないぞ」「うそは、いってません」「よし。あっちへいけ」といわれますと、じょちゅうはおじぎをして、いってしまいました。おうさまは、じょちゅうがいつてしまうと、

おしゃべりひめを、ぐっとおにらみになりました。「これ、おしゃべりひめ。おまえは、なぜそんなにうそばかり、おしゃべりをするのだ」と、おうさまは、かみなりのようなこえで、ひめをおしかりになりました。けれども、ひめは、ちっともこわがらずに、こういいました。「いいえ。わたしは、ちっともう